

実社会に興味をもたせる本文・イラスト・資料

学習内容を俯瞰してイメージできるイラスト「学習の前に」

第2部第1章の冒頭「暮らしのなかから憲法との関わりを探してみよう」では、自分たちの暮らしの一場面が、憲法とどのように関わっているか、小学校や地理的分野・歴史的分野での学習を踏まえて考えられるようにしています。

p.30-31

学習の前に



2部1章(p.30~73)

暮らしのなかから憲法との関わりを探してみよう



ワークシートなど

TRY1

下のイラストは、「はるの市」にある「さくら野商店街」周辺のまち並みです。イラストを見ながら、私たちの暮らしが憲法とどのように関わっているか、小学校や地理・歴史で学習したことを踏まえて考えてみましょう。

① 次の場面は、イラストの①~⑦のどれに当たるか、()に記号を入れてみよう。

- ① 国民主権(国民が国の政治のあり方を決めること)に関わる場面 (→ p.38) ()
- ② 平和主義(武力行使と戦争を放棄し、戦力と交戦権をもたないこと)に関わる場面 (→ p.40) ()
- ③ 基本的人権の尊重(すべての人が生まれながらにして持つ権利を尊重すること)に関わる場面 (→ p.34, 44~63) ()

TRY2

① イラストから、あなたが考える困っている人や課題がある場面を探し、その具体的な内容を表にまとめてみよう。

困っている人や課題がある場面	内容
例) C2	前を歩く人のたばこの煙がかかる

② 対話 ①でまとめた表を周りの人と持ち寄り、より多くの課題を探してみよう。

イラストから、**原寸大**の課題を見つけてみよう。2部1章では、その課題について学習しよう。下の「1章の問い」を通して、学びを深めていきましょう。

1章の問い 民主的な社会をつくるために、私たちはどのように憲法をとらえ、考えていくべきなのだろうか。

→ p.71で振り返ろう



実社会に興味をもたせる本文・イラスト・資料

学習内容を俯瞰してイメージできるイラスト「学習の前に」

学習の前に 掲載ページ一覧(全5か所)

部	分野	タイトル	ページ
第1部	現代社会	45年前と今の社会を比べてみよう	p.2-3
第2部	政治	暮らしのなかから憲法との関わりを探してみよう	p.30-31
		みんなが暮らしやすい社会をつくろう	p.74-75
第3部	経済	暮らしのなかから経済を探してみよう	p.116-117
第4部	国際	地球的課題を探してみよう	p.182-183

ポイント

TRY1で、イラスト内にある経済活動の場面を探すことで、「自分たちの暮らし」の中の経済を認識できます。

さくいんグリッド

地図帳の索引記号のように、記号を使って位置を確認することができます。

ポイント

TRY2で、「交換」の場面を探すことで、身のまわりに多くの経済活動があることが実感できます。

p.116-117

学習の前に

3部1章(p.116~180)

暮らしのなかから経済を探してみよう



TRY1

下のイラストは、「はるの市」の「若木地区」の商店街の様子です。たくさんの人たちが買い物をしたり、働いたりしています。イラストを見ながら、経済が私たちの暮らしとどのように関わっているか、考えてみましょう。

① 次の場面は、イラストのA~Fのどれに当たるか、()に記号を入れてみよう。

- ① 購入する商品の代金を支払っている (→p.122) ()
- ② 店長から給与を受けとっている (→p.138) ()
- ③ スマートフォンの契約内容を確認している (→p.126) ()
- ④ 市の作業員がごみを収集している (→p.156) ()
- ⑤ ATM(現金自動預け払い機)を利用している (→p.150) ()
- ⑥ パン用の小麦を受けとっている (→p.132) ()

TRY2

① イラストから、人と人との間で交換が行われている場面を探してみよう。(ヒント：モノとモノの交換だけでは限りません)

誰と誰	交換しているもの
例) B3 客と店員	お金と商品

② 対話 ①の表を周りの人と持ち寄って、意見交換をしてみよう。

イラストから、さまざまな経済活動を見つけることができましたか。3部1章では、家計(消費者)、企業、政府などの視点から、経済のしくみや財政のあり方について学習します。下の「1章の問い」を通して、学びを深めていきましょう。

1章の問い 私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。



→ p.176で振り返ろう

単元の導入資料として

「章の問い」を掲載しています。TRYで取り組んだ活動の流れで、単元の学習の見通しを立てることができます。

本文との関連

● **本文との関連①**
本文にある「企業」の内容を「学習の前に」のイラストでも確認できます。また、イラスト内の場所も明示しています(左の図中を参照)。

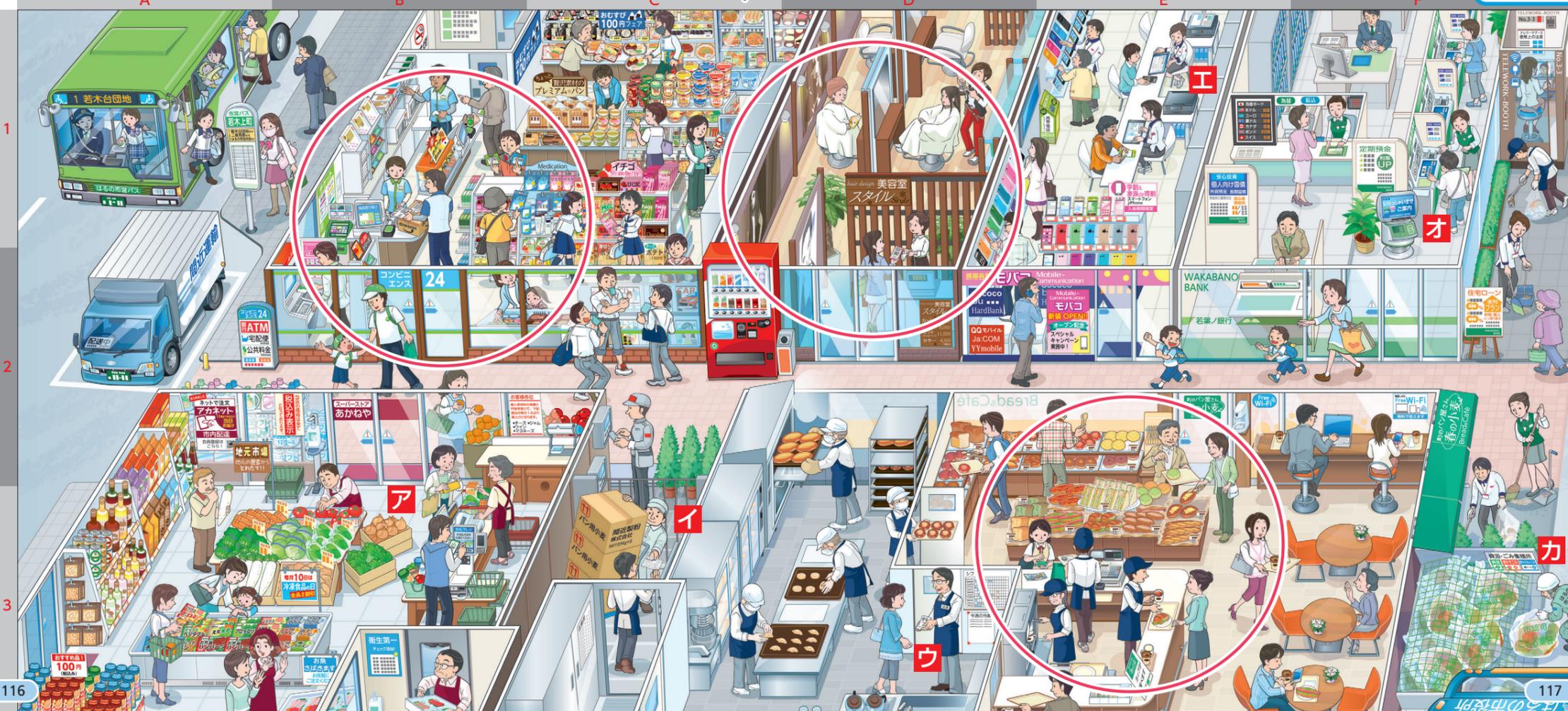
企業とは 私たちの身の回りには、さまざまな商品(モノ)やサービスが売られています。これらを生産している組織や個人を「企業(生産者)」よびます。生産には労働が必要なことから、企業は人々に働く場(雇用)を提供しています。

↑ p.132

● **本文との関連②**
さらに、本文ページの下部に「<学習の前に>を振り返る」を設置し、本文と関連付けているので、本文の理解が深められます。

p.116-117(学習の前に)を振り返る 企業(コンビニエンスストア(B-1)、美容室(D-1)、パン屋(E-3))

↑ p.133



実社会に興味をもたせる本文・イラスト・資料

身近な事例から、実感をもって学習できる「導入の具体事例」

各見開きでは、導入資料で興味・関心を引き出す→本文記述で知識の定着を図り、深める→側注で本文の理解を助ける→コラムで生徒の理解の幅を広げる内容構成とし、生徒の「学び心」を引き出します。

p.136-137

ポイント

導入資料では、生徒に身近な「回転ずし」を取り上げ、興味・関心を引き出し、「対話」で、企業の競走について考えられるようにしています。



すし業界の激しい競争 本資料p.17-18

A社
すしネタはもちろん、ラーメンなどのサイドメニューも他社にない独自のものを多数用意しました。

B社
すし店以外にうどん店などを経営しています。食材をまとめて購入して費用を下げ、低価格を実現しました。

C社
価格は他社よりも割高ですが、産地直送で厳選された旬の食材を使用するなど、ネタの鮮度にこだわりました。

←1回転ずし店のカウンター
対話 上の3社はそれぞれどのような工夫をしているのだろうか。

未来に向けて

ビッグデータを生かした経営戦略(大阪府吹田市)

情報・技術

大手回転ずしチェーンのA社では、皿につけられたICタグを使って、毎年10億件以上の注文された商品や時間帯などのデータ、いわゆるビッグデータ(→p.7)を蓄積しています。このシステムを導入したことで、地域による違いや時間帯による違いを把握でき、すしの需要を高い精度で予測したり、商品の製造量をコントロールしたりできるようになりました。その結果、すしの廃棄量は導入前に比べて約4分の1に減少しました。



↑3皿につけられたICタグ

原寸大

ライバル店に対抗しよう

Q あなたのパン屋さんの周辺には価格が売りのライバル店があります。4を参考に、ライバル店に負けないセールスポイントを考えましょう。

味がよい	72.8
焼きたてである	42.0
品数・種類が豊富	34.0
品質がよい	30.2
パンの香りがよい	25.9
ベーカリー*にしかないパンがある	24.6

*ベーカリーとは、店内で焼いたパンを販売する店のこと(複数回答)
(2016年) (マイボイスコム株式会社資料)

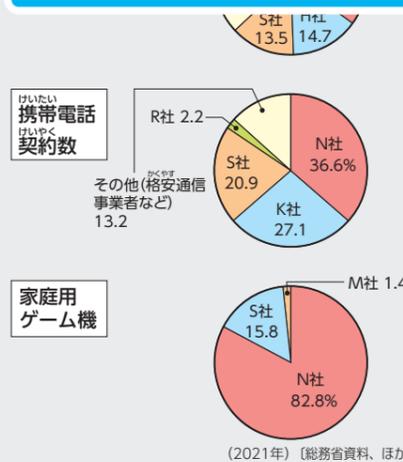
↑4ベーカリーでパンを購入する理由

3 企業の競争と独占

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にどのような役割があるのだろうか。

ポイント

導入資料の「対話」で考えた企業の競争は、「企業が成長する原動力」にもなることを、わかりやすく説明しています。



↑2生産の集中 資料活用 上の三つのなかで最も生産が集中しているものは何だろうか。

学習課題 企業の競争は、私たちの生活にどのような影響をもたらしているのだろうか。

企業の競争

企業は売り上げや利益を増やすために、ほかの企業と競争しています。一般に、競争に勝つのは品質のよい商品を安く提供できる企業です。負けた企業は市場から撤退することになります。他方、ライバル企業との競争は、優れた商品が世の中に送り出されることにもつながります。競争は経済が成長する原動力でもあるのです。近年は、地球環境問題や人権問題などの世界的な課題にどのように向き合っているかという点も社会に評価され、企業の競争力を左右するポイントになっています。競争の形態はさまざまです。例えば、鉄道と航空は異なる産業ですが、人を輸送するという意味ではライバル企業です。一方、同じ衣服を生産する産業でも、スポーツウェアと高級ブランドでは、購入する人や目的が異なるため、必ずしもライバル企業になるとは限りません。

競争が起きにくい状況

競争が起きにくい状況もあります。機械の購入や工場の建設などの設備投資や、研究、開発に多額の費用がかかる商品を考えましょう。線路や車両が必要な鉄道のように、生産を始めるのに大きな設備投資が必要な産業では、

ポイント

「回転ずし」の例を用いて、技術革新を用いた企業の取り組みを紹介しています。

新品(モノやサービス)一つあたりの種類では、新しい企業の参入が難しい独占や、少数の企業しかない寡占。また、近年では、ICT産業などで独占・寡占が生じる傾向も見られます。スマートフォンのOSなどは、利用者が多いと対応するアプリが増えて利便性がよくなり、利用者がさらに一部の企業に集中する傾向があります。しかし、独占・寡占が生じると、企業が商品を値上げしても、消費者は購入せざるをえなくなり、消費者にとって不利益になりかねません。

公正な競争の確保

寡占状態にある市場では、企業どうしが競争せず、話し合っ価格を高く維持する行為(カルテル)が見られることがあります。また企業間取り引きでは、部品の生産を担う下請けの中小企業に対し、大企業が仕入れの価格を下げるよう迫ることもあります。

企業の公正で自由な競争を保つために、1947年に制定された法律が独占禁止法です。そしてこの法律を実際に運用して、不正な行為を監視する機関としてつくられたのが、公正取引委員会です。公正取引委員会は、不当な価格操作などがあると、企業を摘発し、罰金の支払いを命じるなどして改めさせます。

p.116-117 (学習の前に) を振り返る パンをめぐり競争(C-1、E-3)、携帯電話会社間の競争

競争が行われている状態

A社 メニュー B社 価格 C社 味

1円 95円!

競争が行われていない状態

地域唯一

チリ産サーモン 1000円

メキシコ産まぐろ 1100円

アラスカ産いくら 1200円

↑5独占による不利益の例 競争が行われ各社が工夫している状態(上)と比べて、競争相手がいない状態(下)の例では極端に高い価格がつけられています。

ポイント

企業間競争が、消費者にもたらす利益についてイラストを用いて説明するとともに、競争の公正さを保つための法律があることが理解できます。

実社会に興味をもたせる本文・イラスト・資料

身近な事例から、実感をもって学習できる「導入の具体事例」

A 迫力あるワイドな写真

大きな水圧を一枚で支えられるアクリルパネルの事例から、興味・関心をもって企業の学習につなげられます。 ↓p.134



↑1 沖縄美ら海水族館に設置された幅22.5mのアクリルパネル(沖縄県本部町) この大型のアクリルパネルは、高い強度のアクリルを何層にも重ねることで、大きな水圧に耐えることができます。それにより、一本の柱も使わずに迫力ある展示が可能になっています。

☞ 対話 ☞ N社のように高い技術をもつことは、企業にとってどのような利点があるのだろうか。

B 関連する身近な事例

身近な「アイスクリーム」の「種類別」の表示から、興味・関心をもって経済の学習につなげられます。 ↓p.126



表示が異なる理由

アイスクリーム類の表示は、乳成分の量が多い順に、アイスクリーム、アイスマイルク、ラクトアイスの三つに分類されています。このような表示は法律によって定められています。

	乳固形分	うち乳脂肪分
アイスクリーム	15%以上	8%以上
アイスマイルク	10%以上	3%以上
ラクトアイス	3%以上	—

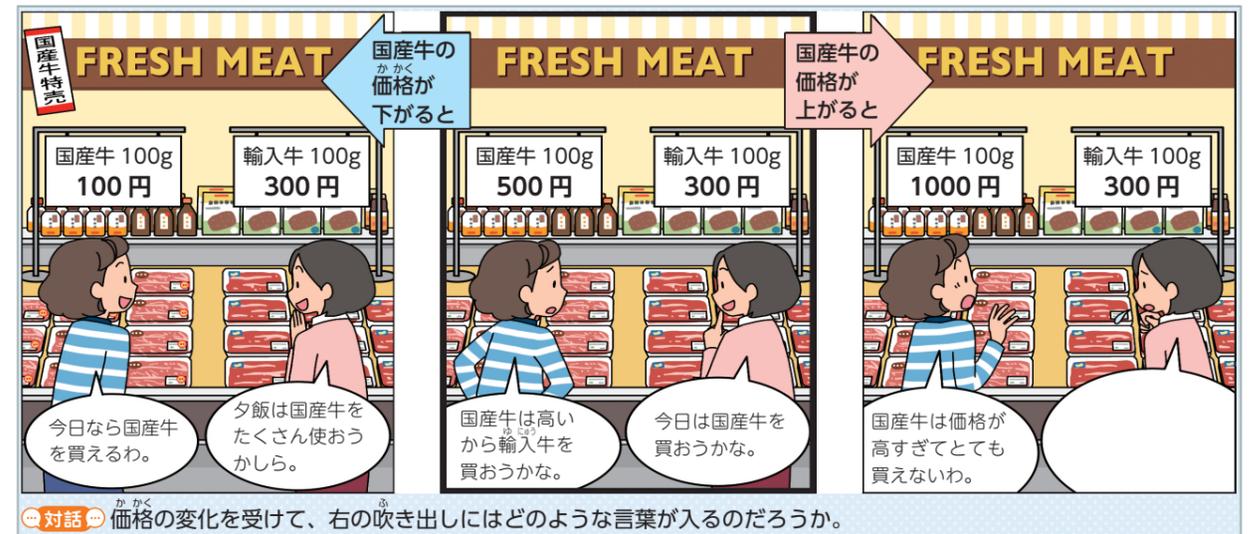
←↑1異なるアイスクリーム類の表示(左)とその基準(上)

☞ 対話 ☞ ○のような表示が法律で定められているのはなぜだろうか。

各見開きの導入資料は、迫力あるワイドな写真やわかりやすいイラストなどを多用し、生徒に身近な事例を取り扱うようにしています。興味・関心をもって、「自分ごと」として学習に取り組みます。

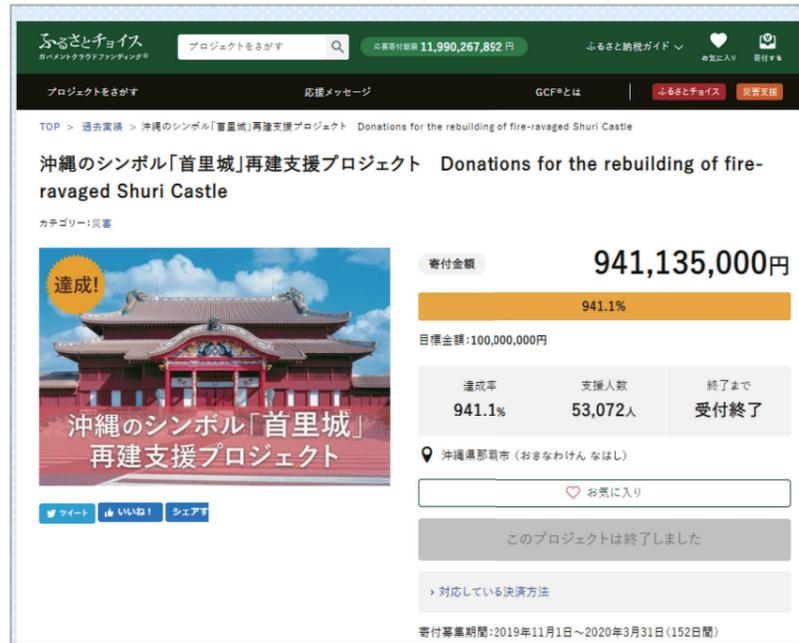
C 学習内容を直感的に理解できるイラスト

買い物という身近な生活の一場面から、興味・関心をもって価格変動の学習につなげられます。 ↓p.146



D 話題となった題材で、興味・関心を引く導入資料

クラウドファンディングの例から、興味・関心をもって、金融の学習に取り組みます。 ↓p.150



首里城の再建に集まる支援

(沖縄県那覇市)

沖縄の歴史・文化を象徴する建造物である首里城は、2019年の火災で正殿が焼けるなど大きな被害を受けました。しかし火災の翌日には首里城の再建に向けて、インターネット上で多数の人から資金を集めるクラウドファンディングを利用した支援金の募集がはじまり、2日余りで目標額の1億円を達成しました。最終的には約5万3000人から9億円以上が集まり、首里城の再建作業に使われています。

←↑1首里城のクラウドファンディングのウェブサイト(2022年)

☞ 対話 ☞ まとまったお金を集めるには、どのような方法があるのだろうか。